

2023年度 事業報告書

事業名

盲導犬事業 〈公1〉

社会適応推進事業 〈公2〉

管理部門 〈法人会計〉

自：2023年 4月 1日

至：2024年 3月31日

公益財団法人北海道盲導犬協会

札幌市南区南30条西8丁目1番1号

盲導犬事業 〈公益目的事業1〉

(2023年4月1日 ~ 2024年3月31日)

■ 盲導犬の育成・貸与事業

1. 盲導犬訓練・貸与に関すること

1) 視覚障がい者への盲導犬貸与目標11頭に対して4頭貸与した。

- ・貸与地域：道内2頭(新規2名)・道外2頭(代替1名新潟県・代替1名秋田県)
- ・盲導犬実働数68頭(年度末時点・前年比△9頭)

2) 2024年度の盲導犬訓練基準認定目標を11頭とし、15頭前後の訓練犬に対して、より充実した訓練を行った。

2022年度に委託したパピー犬58頭のうち49頭を委託終了し、1次適性評価を実施した。その結果、28頭が評価に合致した。合致した犬に対して2次評価を行い、17頭の訓練犬を決定し、訓練基準認定目標を達成した9頭から、健康面や日常生活面等の状況を踏まえて2024年度の盲導犬申込者にマッチングを行う。

(2023年度訓練犬17頭の詳細)

2023年度適性評価合致	15頭	2022年度適性評価合致	2頭
--------------	-----	--------------	----

3) 盲導犬ユーザーのサポート体制を安心・安全の観点から強化に取り組んだ。

- ・新型コロナウイルス感染予防に対応する指導体制を継続した。
- ・ハーネスおよび盲導犬の啓発表示の改良については、バーハンドル作成にむけて業者との打ち合わせを行っている。
- ・体制変更のためユーザーサポート担当からの引継ぎを行い、盲導犬ユー

ザーのフォローアップ・相談業務のサポートを充実させた。

- 4) 訓練士・指導員の養成カリキュラムの改訂に引き続き取り組み完成させるとともに訓練士・指導員の養成を進めた。

・新入職員の養成について管理職間で意見交換を行い、養成カリキュラムを完成させた。2024年度からカリキュラム沿って養成を行う。

・盲導犬歩行指導員1名の資格認定を受けた。

2. 繁殖に関すること

- 1) 出産頭数は60～75頭（出産件数15腹前後）の計画に対して56頭であった。

出産件数	出産頭数	委託頭数	譲渡頭数	譲受頭数
12腹	56頭	52頭（1）	4頭	0頭

- ・出産頭数は死産や出産後死亡犬、育仔中にCCとなった犬を除く
- ・（ ）は委託後に死亡した頭数
- ・56(出産)-4(他施設譲渡)=52(委託)
- ・他施設への譲渡は、繁殖協力や子返しのため実施したものである。

- 2) 繁殖犬として新たに9頭を確保して、繁殖犬の質の維持・向上に努めた。

・繁殖犬導入 ラブラドル7頭（オス2、メス5） ゴールデン2頭（オス1、メス1）

・現繁殖犬数 オス 13頭 メス 33頭

- 3) パピー犬58頭に対してGD-Bartテストを実施し、その結果のデータを整理した。データは、アジアガイドドッグスブリーディングネットワーク（AGBN）に提出していく。

- 4) 繁殖犬飼育委託ボランティアに向けて、年間繁殖計画及び繁殖犬飼育委託体制について説明会を実施して、理解促進を図った。

・12/16開催 参加 オス犬4家庭 メス犬14家庭

- 5) 引退繁殖犬（繁殖犬を引退していて12歳になる前の犬）に対して、ケア

の充実化を図るため、以下の内容を新たに実施した。

①繁殖犬から引退繁殖犬への処遇変更を明確にするため飼育者に書面を交付することとした。

②全頭に年1回の健康診断を実施することとした。

③生活状況に関する報告書を新たに整えて、飼育状況の把握に努めた。

・引退繁殖犬数 オス2頭 メス 23頭

3. パピーウォーキングに関すること

1) 2024年度訓練犬・繁殖犬適性評価対象となる子犬を52頭委託した。

・2-(1)実務実績の表による。

・委託後に1頭のパピーが死亡する事例があった。生まれてから兄弟犬よりも成長の速度が遅く、通常よりも1か月遅らせてパピーウォーカーに委託したが、委託後2日目で死亡するという経過で、解剖の結果、心不全が疑われた。今後の委託における判断事例としていく。

2) パピーウォーカーを対象とした飼育講習会を計画通りに実施した。

・委託終了までの間に、講習会を5回及び家庭訪問を3回実施して、パピーの飼育指導にあたった（パピー講習会、委託式：58回実施、家庭訪問：151回実施）。

・講習会内容として、繁華街で歩く経験を積ませることを目的とした講習会を新たに取り入れており、その効果を今後検証していく。

4. ケネル・老犬ホームに関すること

1) 老犬飼育委託家庭への定期訪問を行い、高齢犬の飼育環境を整えるアドバイスを充実させた。また、老犬来所の機会に犬の健康状態を把握し個々に合

ったアドバイスをを行った。

- ・老犬飼育委託者向けの「老犬通信」を3回発行し老犬に関する情報を提供した。

- ・管理頭数 68頭

2) PR犬の委託制度を確立させたが運用には至らなかったため、次年度の運用とした。

3) 担当職員間による業務分担を行った。

4) 引退犬飼育者向けの介護動画を作成予定でしたが、使用機器の有効利用ができず編集作業に時間がかかることが判明したため次年度の完成を目指すこととした。

5) 犬舎作業ボランティア、老犬ボランティアのうち、老犬ボランティアを1名採用し充実を図った。

6) 年間を通してワクチン関係や慰霊式等の準備を計画的に進め、上半期に実施したワクチン接種は、北海道獣医師会等の協力を得て計画通りに実施し、また、慰霊式は4年振りに一堂に会して滞りなく終えることができた。

5. 研修に関すること

1) 外部研修の活用により、職員のスキルアップに努めた。

①盲導犬国際連盟 (IGDF) 2023カンファレンス 1名参加

開催地：カナダ バンクーバー (4月27～30日)

②全国盲導犬施設連合会加盟施設職員研修会

- ・盲導犬使用者のスマートフォン利用における歩行関連アプリ・サービスの実状と安全な活用法に関するオンライン研修会 1名参加 (6月29日)

- ・ 出産繁殖担当者オンライン研修会 1名参加（7月21日）
- ・ パピープログラム担当者研修会 会場中部盲導犬協会 2名参加（7月21日～22日）
- ・ 犬舎管理研修会 会場兵庫盲導犬協会 1名参加（12月7～8日）

③日本歩行訓練士会「駅ホーム中央誘導ブロックに関する意見交換会」
1名オンライン参加（8月19日）

2) 全国盲導犬施設連合会加盟施設職員相互研修の機会を利用して中部盲導犬協会及び兵庫盲導犬協会訓練施設を見学し、犬舎管理に係る情報交換を行った。

6. 犬具飼料等の頒布に関すること

1) 盲導犬ユーザー、飼育委託ボランティアが購入する犬具・飼料について、卸業者からの仕入れにより標準価格の7割程度で頒布して費用負担の軽減に努めた。

- ・ 取扱数 飼料4件 犬具251件

2) 盲導犬ユーザー、生活訓練受講生を中心に歩行補助具・日常生活用具の情報提供及び頒布を行い、日常生活をサポートした。

- ・ 取扱数 用具46件

■ 普及啓発事業

1. 盲導犬の普及啓発に関すること

1) 視覚障がい者向け盲導犬体験会を実施した。

- ・ 7名に盲導犬個別体験会を実施し、2名の盲導犬貸与申込みに繋がった。

2) X(旧Twitter)を活用して、視覚障がい者や関係団体、一般向けに情報を

発信し、盲導犬事業の理解促進を図った。

- ・ 投稿数：178回
- ・ 3月末時点フォロワー数：1,288名

3) 盲導犬受入れの理解を図ることを目的とした講習会を開催した。

- ・ 8月19日 遠軽信用金庫中央支店従業員向け盲導犬受け入れ接客セミナー
- ・ 11月9日 あおぞら銀行札幌支店従業員向け盲導犬受け入れ接客セミナー

4) 教育機関・福祉事業者・自治体等が実施する盲導犬講習会に講師を派遣し、盲導犬と視覚障害の理解を広げた。

- ・ 教育機関29件（幼稚園4/小学校7/中学校7/高校4/大学1/専門学校6）
- ・ 福祉事業者3件（札幌市西区社会福祉協議会2・岩見沢市社会福祉協議会1）

5) 関係団体・商業施設・支援企業等の協力を得て盲導犬啓発キャンペーン活動を実施した。

- ・ 北海道コンサドーレ札幌ホームゲーム、アンデルセン福祉村、アリオ札幌等73か所で啓発活動を実施した。

6) 「みつけようノーマライゼーション自分図鑑inアリオ札幌」を(株)イトーヨーカ堂、(株)セブン&アイHLDGS主催のもと札幌市内で開催し、盲導犬と身体障害者補助犬法についての理解と啓蒙を図った。

7) 個人を対象とした施設見学会を7回開催した。

- ・ 開催日 6月10日、7月22日、8月26日、11月11日、12月9日、
2月9日、3月3日
- ・ 総参加人数：176名

8) 盲導犬の普及啓発目的のオリジナル商品を製作・頒布して、盲導犬育成事業に対する理解と募金への協力に繋げた。

- ・ 新デザインのオリジナル商品2種を製作し、協会来所者や啓発イベントを

中心に頒布した。(エコバック・一筆箋)

- ・頒布実績318件(協会来所者272件 啓発イベント46件)

9) 広報誌「北の盲導犬だより ミーナ」を年2回各20,000部発行した。

- ・7月14日 第75号発行
- ・1月19日 第76号発行

■ 調査研究事業

1. 調査・研究に関すること

- 1) 受精卵移植技術の確立を目指して、共同研究機関に7頭分の受精卵提供を行った。
- 2) A G B Nが取り組む期待育種価算出プログラムの精度向上に協力した。

■ その他事業

1. 財源確保に関すること

- 1) サポート会員の新規会員目標200件に対して、104件の新規申込を受けた。
また、サポート会員に対して計画的に継続支援依頼書を送付して、1,800件の会員継続を受け付けた。

	全体	個人会員	法人会員
新規会員数	104件	96名	8社
継続会員数	1,800件	1,749名	51社
当年度会員数	1,904件	1,845名	59社

2) 募金箱の新規目標200か所に対して、211か所に設置した。

また、既設募金箱の定期訪問回収と設置者への送金の依頼、設置状況の確認を行う等、募金箱を適切に管理し、4,626か所からの募金入金があった。

	全体	札幌市	札幌市外	道外
新規設置数	211件	127件	80件	4件
除台数	195件	132件	57件	6件
総設置数	7,191件	3,610件	3,088件	493件

3) 街頭募金活動を15回実施し、財源の確保、盲導犬の啓発、協力者の拡大を図った。

・IKEUCHI GATE前 14回実施

5月26・27日、6月23・24日、9月29・30日、10月27・28日、

11月24・25日、12月1・2日、3月22・23日 各日：13:00～14:30

・イトーヨーカドー帯広店 1回実施

9月10日 10:00～13:00

4) 支援企業9社から協賛金を募り、ポスター型カレンダー5,500枚を制作して支援者等に広く配布し、継続支援を依頼した。

2. 関連団体との協力連携に関すること

日本盲人社会福祉施設協議会関係では、全国11施設の盲導犬年次報告書の取りまとめと警察庁、厚労省、マスコミ他、全国関係機関への配布を行った。

全国盲導犬施設連合会関係では、理事会2回、運営委員会3回に出席し、課題共有、職員研修の企画運営、盲導犬歩行指導員等審査要綱の改定等に係った。

また4年振りに北海道盲導犬ユーザーの会総会が開催され運営に協力した。

社会適応推進事業 〈公益目的事業2〉

（2023年4月1日 ～ 2024年3月31日）

1. 生活訓練の実施に関すること

- 1) 短期入所訓練を実施した。実施回数及び指導数は、目標10回、15～20名のところ、12回開催し23名実施した。また、新規訓練希望者は目標5名に対し5名の受入を行った。

実績

		訓練日程	訓練期間	受入人数				計
				札幌市内		道内		
				新規	継続	新規	継続	
上半期	1	4月4日～4月14日	2週間				2	2
	2	5月15日～5月26日	2週間				2	2
	3	6月1日～6月9日	2週間				1	1
	4	6月19日～6月30日	2週間				2	2
	5	7月24日～7月28日	1週間			1		1
	6	9月19日～10月6日	3週間		1		2	3
下半期	7	10月16日～10月27日	2週間	1			2	3
	8	11月5日～11月10日	1週間	1				1
	9	11月13日～11月24日	2週間	1			1	2
	10	1月15日～1月26日	2週間				2	2
	11	2月19日～3月1日	2週間				2	2
	12	3月18日～3月29日	2週間	1			1	2
			合計	4	1	1	17	23

- 2) 通所及び訪問による指導を行った。指導数は月平均5ケースであった。

※通所及び訪問による指導ケース数は、各受講者の訓練期間により変動するため、受講者数は月平均にて表示した。

・訪問訓練の状況

前年度からの継続5ケース

点字訓練 1名終了／1名開始

次年度への継続 5 ケース

- ・通所訓練の状況

未実施

3) ケース会議を実施し、訓練達成度の確認及び評価と今後の計画を決定した。

- ・入所訓練：11回開催分まで終了

※12回開催分は終了が年度末となったため次年度に実施を予定している。

- ・訪問・通所訓練：2回実施

2. 視覚障害リハビリテーションの普及啓発に関すること

1) 当協会の盲導犬事業、生活訓練事業を啓発するために、地域の当事者団体等と協力し相談セミナーを3回開催した。

- ・岩見沢視力障害者福祉協会主催 視覚障がい者交流イベント(8月20日)
- ・小樽市身体障害者福祉協会主催 視覚障がい者向け講習会(9月17日)
- ・江別市視覚障害者福祉協会主催 視覚障がい者情報交換会(11月19日)

2) 当協会の盲導犬事業及び生活訓練事業の利用者の拡大に繋げるために、道内の視覚障がい者・関係者の依頼に対応して、計画的に個別相談を実施した。道内の訪問相談の件数は、16名に対して17回実施した。なお、札幌市内や電話対応等を含む総相談対応数は422件となる。

3) 盲導犬使用希望者、生活訓練受講希望者を顕在化するため、ロービジョンケアの集まりや視覚障がい者団体の行事等に参加し、盲導犬・生活訓練に関する情報提供を行うとともに、団体等の要請に応じてオンライン用の機材貸し出し及び協会を会場として提供する等、開催・運営に協力した。

- ・ロービジョンケア北海道(札幌開催)11回参加

会場参加7回：内協会開催1回、※ハイブリット参加4回

- ・ロービジョンケア旭川（旭川開催）3回参加

会場参加2回、オンライン参加1回

- ・ロービジョンケア十勝（帯広開催）6回参加

会場参加1回、ハイブリット参加5回

ロービジョンケア十勝の参加者より盲導犬貸与者1名、生活訓練受講者1名があった。

※ハイブリット参加：協会職員が会場とオンラインの二つの方法にて参加したものを指す。

- ・視覚障がい者団体の行事等への参加

→札幌市内 ・北海道札幌視覚支援学校見学受入(7月12日)

・アイフェスタin札幌（9月3日）

・札幌市視覚障害者福祉協会ふれあい祭り(10月22日)

→道内 ・千歳視覚障害者福祉協会主催道内SST(サウンドテーブルテニス)交流会（7月23日）

・帯広 目のことなんでも相談と体験会（9月10日）

→道外 ・青森県視覚障害者福祉会定時総会(5月14日)

・青森県視覚障害者情報センター主催福祉展(9月3日)

(参考)

○「ロービジョンケアの集まり」とは、視覚障がい者と歩行訓練士、視能訓練士などの専門職が自由に相談や意見交換を行う場で、札幌、旭川、帯広の3か所で行われている。受障後間もない方の参加もありピアカウンセリングの場としての役割もある。

○ここでいう「視覚障がい者団体」とは、主に札幌市視聴覚障がい者情報センター、札幌市視覚障害者福祉協会、北海道視覚障害者福祉連合会を指す。

- 4) 道内の視覚障がい当事者及び医療・福祉・教育等の関係者に、視覚障害リハビリテーションの普及啓発を行う事を目的として「第2回ロービジョンケア講習会」を北海道眼科医会と共同で開催した。

開催日程：2023年7月15日

会場：ACU（中央区北4条西5丁目アスティ45 16階）

参加人数：65名

内容：講演「視覚障がいのICT活用」

体験講習、機器展示、専門機関団体紹介等

- ・昨年に引き続き、講習会の動画2本を協会YouTubeチャンネルにて申込者に配信した。（視聴回数 1. 開会式及び講演 30回 2. 体験講習・障害体験・機器展示・情報提供18回）
- ・次年度は2024年5月11日にACUを会場として実施する。

- 5) ロービジョンケアを実施する医療機関を対象とした日常生活用具展示会及び相談会を旭川医科大学病院眼科外来において3回実施した。

- 6) 視覚障がいの外出を支援し、地域との繋がりを深めるために、道内の移動支援従事者や同行援護従事者を対象としたフォローアップ研修を、オンラインを活用して実施した。実施回数は2回で、どちらも旭川市社会福祉協議会の職員を対象に実施した。

- 7) 生活訓練受講者に対して協会行事や訓練・日常生活用具等の情報を提供するために、協会YouTubeチャンネルにて、手引き、白杖、補装具について紹介する動画の公開を開始した。

管理部門 <法人会計>

(2023年4月1日 ~ 2024年3月31日)

1. 理事会・評議員会・三役会により、効果的に法人業務の意思決定を行った。

1) 理事会は、計4回開催した。

第47回理事会 6月9日 第48回理事会 6月27日 第49回理事会 11月28日

第50回理事会 3月21日

理事の任期満了に伴う選任が行われ、会長、副会長、常務理事が互選された。

会長 伊藤信賢(再任) 副会長 小城公明(再任)・高田久(新任)

常務理事 有岡裕美(新任)

2) 評議員会は、計2回開催した。

第29回評議員会 6月27日 第30回評議員会 3月28日

3) 三役会、経営会議は12回開催した。

第1回経営会議 4月26日 第2回経営会議 5月22日 第3回経営会議 6月21日

第4回経営会議 7月25日 第5回経営会議 8月24日 第6回経営会議 9月26日

第7回経営会議 10月25日 第8回経営会議 11月22日 第9回経営会議 12月20日

第10回経営会議 1月24日 第11回経営会議 2月28日 第12回経営会議 3月6日

2. 施設整備関係

1) 犬舎・トレーニング室の冷房設備設置計画

・設置費用の一部はクラウドファンディングによる財源確保を計画したが、本事業に対する使途指定寄付の申し込みを受け、資金計画を見直した。

・冷房設備に係る熱負荷計算、数量表、配置図等を作成した。

2) 訓練棟エレベーター更新工事

・更新工事完了2024年2月

3) 本棟訓練棟外壁等改修工事

- ・改修工事完了2023年12月

4) 本棟火災報知器更新工事

- ・更新工事完了2023年9月

5) 本棟訓練棟施設保全計画書の更新

- ・本棟及び訓練棟の保全計画の策定を発注した。納品は2024年上半期を予定している。

3. 職員募集を行い、7名を採用した。

2023年11月 事務部1名配属

12月 指導部1名配属

2024年 4月 指導部4名配属、事務部1名配属（予定）

4. 人事評価制度の再設計と賃金見直しを行った。

- ・人事評価制度の再設計を行い次年度からの運用を決定した。
- ・2023年度の大卒初任給を191,000円に改定すると共にベースアップ及び定期昇給を実施した。

5. 犬の飼養管理ガイドラインの運用を行い、犬の適正な飼育に努めた。

- ・犬の飼養管理ガイドラインに則った飼養管理チェック表を導入し、飼育状況の可視化を図った。

6. 創立50周年記念誌「つなぐ」を1,000冊制作し、当会寄付協力者、ボランティア、道内の学校教育機関、公立図書施設等に配布した。

7. 施設に関すること

1) 施設所在地

北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1

2) 施設の状況（敷地面積や建物の状況）

敷地面積 3306m²

本 棟 (構造等) 耐火造地上3階 床面積442.16m² 延べ面積1100.88m²

(主設備) 事務室・食堂・厨房・入所生室(5室)・宿直室

生活訓練室(2室)・浴室男女・手入れ室・ホール

※相談室兼宿直室を宿直室に変更

訓練棟 (構造等) 耐火造地上一部3階

床面積985.07m² 延べ面積1432.18m²

(主設備) 指導員室・調理室・老犬ホーム・訓練犬室・治療室

犬の浴室・交配室・隔離室・ボランティア室

研修室(3室)・相談室

※研修室4を相談室に変更

3) 職員の在籍状況

		常勤	パート	非常勤	備考
	常務理事	1			
	所長	1			
事務部	総務・普及	1			
	経理	3	2		
指導部	生活訓練	3			白杖指導員2人、生活指導員1人
	繁殖・ハッピー	4	1	1	非常勤者は実働月4日
	盲導犬訓練	3	1		指導員2人、訓練士1人
	老犬ケネル	2	2	3	非常勤者は夜間宿直業務実働月8日
	施設管理	1			
		18	6	4	

4) 盲導犬歩行指導員等の資格保有状況（他業務従事者含む）

	男	女	備考
盲導犬歩行指導員	3	1	
盲導犬訓練士	1		
白杖歩行指導員	1	1	
生活訓練指導員	1	1	
愛玩動物看護師		1	
	6	4	